

# 令和5年度ジェンダーダイバーシティ部局応援プロジェクト

## ■ 背景・課題

- ・ダイバーシティの推進は世界的潮流である
- ・本学は令和2年3月に「新潟大学におけるダイバーシティ推進宣言」を公表しているが、特にジェンダーの課題が深刻（女性教授比率：64位/全86国立大学中）
- ・ジェンダーダイバーシティの課題への組織的な対策が必要
- ・ジェンダーの課題は多様であり、個々の部局が自ら課題を把握し、その解決に必要な取組を実行する必要がある

## ■ 目的

- ・ダイバーシティの推進による教育研究の更なる活性化
- ・部局が主体的に自組織の課題を把握し、必要な対策を計画・実践する「オーダーメイド型事業推進」の基盤形成
- ・本学のダイバーシティ推進に必要な取組の精査

## ■ 事業期間

- ・令和5年4月1日～令和6年3月31日  
(令和6年度も実施予定)

## ■ 申請方法

- ・支援対象の取組①～⑩を計画する部局(機構、センター含)が、所定の様式に必要な事項を記載し、**6月16日(金)まで**に提出

※ 個人からの申請は受け付けない。  
取組⑦～⑩についても部局で取りまとめること。

## ■ 支援対象の取組

※以下は人件費としては使えない。  
※各取組の具体例は募集要項を参照のこと。

### ● 部局を支援する取組

- ① FD等 (30万円以内/1部局)
- ② 男性を含めた両立支援 (30万円以内/1部局)
- ③ 臨時保育 (30万円以内/1部局)
- ④ ポジティブアクション準備 (30万円以内/1部局)
- ⑤ 理系女子学生進学促進 (30万円以内/1部局)  
※理系学部・研究科のみ申請可
- ⑥ 部局企画の取組 (50万円以内/1部局)  
※令和5年度からの新設メニュー

### ● 教職員を支援する取組

- ⑦ 支援員 (諸謝金10万円/1人)
- ⑧ 代替要員 (諸謝金10万円/1人)
- ⑨ 研究再開の復帰支援 (10万円/1人)
- ⑩ 新規採用女性教員スタートアップ (10万円/1人)

それぞれの部局で  
必要な支援を選んで  
実行計画を申請

持続可能な  
オリジナル企画  
を歓迎!

## — 令和4年度 取組例 —

### ■ 部局を支援する取り組み

#### ① FD等 /医学部医学科

医学系全教員懇談会にて、「LGBTQと医療の基礎知識～日本の医学教育の現状とこれから～」を開催した。100名近くの教職員が参加し、医学系におけるLGBTQへの理解を深めることができた。

#### ④ ポジティブアクション準備 /医学部保健学科

ジェンダー研究、女性特有の疾患に関するケア開発、および働く女性のピアサポートの研究成果を効果的に発信し、女性研究者ロールモデルを紹介するための、PR動画を作成した。今後ホームページ等で広く公開予定である。

#### ⑤ 理系女子学生進学促進 /医学部保健学科

クッキングスクール(調理実習)と進学説明会を併せた「女子学生の博士後期課程への進学プロモーション」を開催した。博士号のキャリア上のメリット、女性ならではの結婚/妊娠/出産/育児といったライフイベントにまつわる情報・体験談には、参加者も高い関心を寄せた。

### ■ 教職員を支援する取り組み

※ ⑦～⑩の利用者 19人

#### ⑦ 支援員

(業務例)

- ・ 標本整理の手伝い
- ・ 実験動物飼育の補助
- ・ 論文の取りまとめや投稿補助
- ・ データベースの作成と編集作業
- ・ 実験補助と事務作業、…等

#### ⑨ 研究再開の復帰支援

(育児休業からの復帰)

- ・ 支援員による文献整理、データ整理
- ・ 子どもの急な発熱などによる在宅勤務時の支援員による業務遂行
- ・ 論文の英文校閲費、…等

#### ⑩ 新規採用女性教員スタートアップ

(使用例)

- ・ 研究設備の設置
- ・ 実験系の構築に必要な試薬の購入
- ・ 関連資料・基礎資料の購入
- ・ 原著論文の印刷費、…等

✓ 支援員のおかげで育児の時間を増やすことができた

✓ 「4人の子育て」や「1歳児の子育て」と研究を両立!

✓ 休業中は助成金に申請できないため、復帰後の研究費支援はありがたい